

2017年10月3日

箱根登山鉄道株式会社

消防・警察と連携した「異常時総合訓練」を実施いたします。

～実践的な訓練により、緊急時の対応力向上を図ります～

箱根登山鉄道株式会社（本社：神奈川県小田原市 社長：府川光夫）は、10月6日（金）に、入生田検車区にて「異常時総合訓練」を実施します。

11回目の実施となる今回の異常時総合訓練では、小田原市消防本部と小田原警察署にご協力をいただき「列車の脱線事故」を想定。不測の事態が発生した場合においても、当社の乗務員・駅係員と消防・警察が相互連携することで、迅速な避難誘導や人命救助等を行うことが出来るためのスキルの習得、対応力向上を図ることを目的としています。

訓練の概要は下記のとおりとなります。

記

1. 日 時 2017年10月6日（金）13時00分～16時30分 ※雨天決行
2. 場 所 箱根登山鉄道 検車区 小田原市入生田53番地
3. 参加人員 約80名（箱根登山鉄道、小田原市消防本部、小田原警察署）
4. 訓練内容
 - （1）関係各所への連絡通報と情報提供
 - （2）消防・警察との連携による負傷者の救出・搬送
 - （3）乗客の避難誘導訓練（被災車両からバス停まで）
 - （4）車両の脱線復旧、線路・架線の復旧訓練

<事故想定>

出山信号場～塔ノ沢駅を走行中の箱根湯本行き普通列車は、松山隧道東口付近で倒木と衝突し先頭車両1軸が脱線した。この事故により列車の乗客が負傷し、通報を受け到着した消防・警察の協力により救出作業を行う。その他の乗客は警察の協力により近くのバス停へ誘導する。避難誘導完了後、各担当が復旧作業を開始する。

以 上